

Ⅱ モデル地区及び周辺地域における

水・緑等の保全・活用の可能性

§ 1 上瀬谷地区

1. 広域的な位置づけと周辺地域の状況から見た特性

(1) 広域的な位置づけ [⇒前述ふりかえり]

- ・緑地の分断化が目立つ丘陵域の中にあって、周辺の緑地と合わせて飛び石状の大規模な緑地として、要諦をなす位置に立地
- ・境川の源流域、及び丘陵域の縁辺に立地し、水循環の観点から重要な位置づけを有す
- ・横浜市の「緑の七大拠点」に含まれる拠点の中央部に立地

(2) 周辺地域の状況から見た特性 [⇒P22～27 参照]

■水・緑

- ・境川支流の源流を發し、境川沿い及び周辺の台地上には農地や樹林地が多く残存
- ・隣接する帷子川源流域と一体となった『緑の七大拠点』*1のひとつである「川井・矢指・上瀬谷」拠点の重要な一翼を担う位置に立地

■オープンスペース

- ・隣接する瀬谷市民の森を含め、三保市民の森、四季の森公園、よこはま動物園等、大規模な公園が多く集積して分布し、一般に広く水と緑を享受できる地域に位置

■周辺地域からの交通・アクセシビリティ

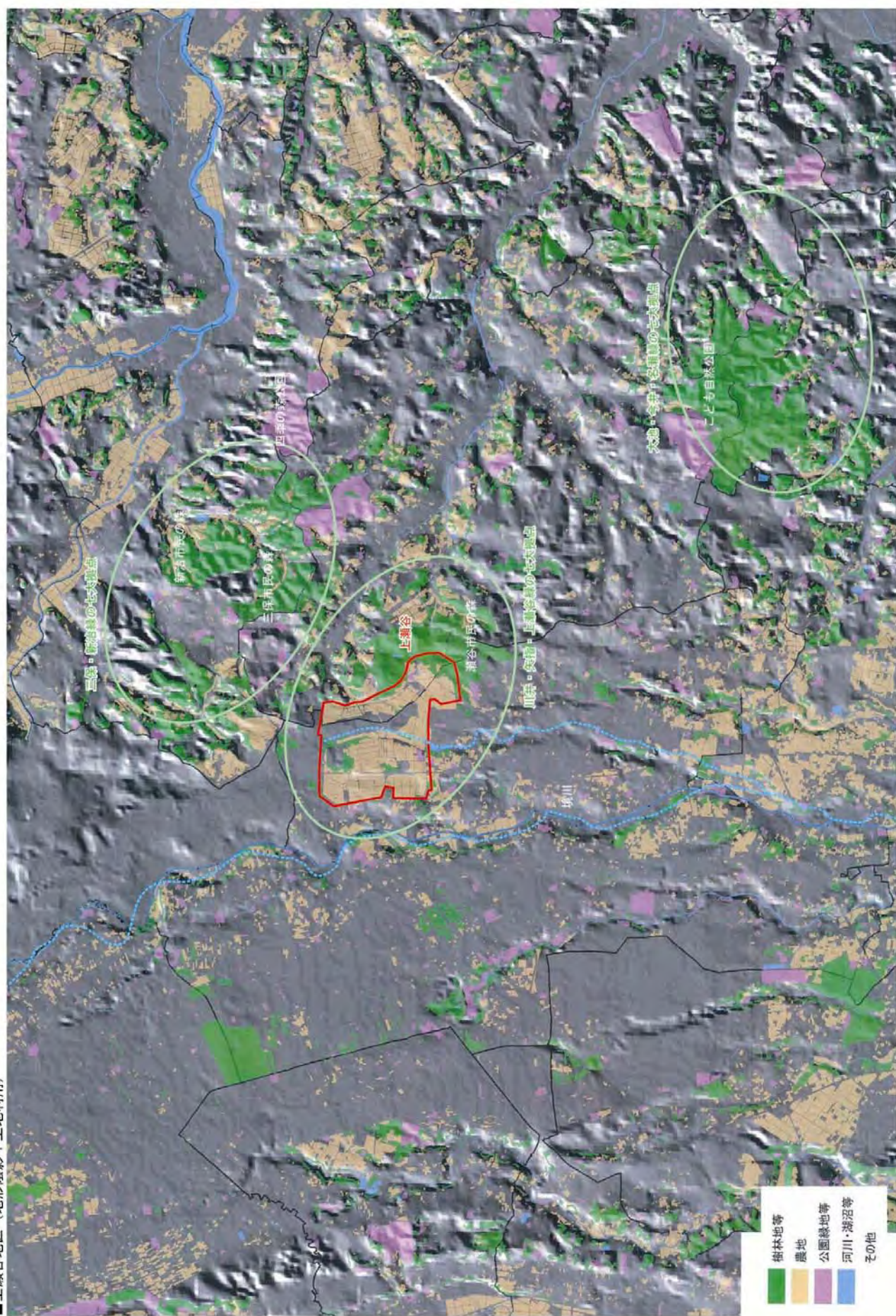
- ・鉄道駅徒歩圏からのアクセス性には恵まれないものの、東名 I C や上川井 I C に直近する等、道路交通上のアクセシビリティは非常に良好

■周辺地域の市街地状況

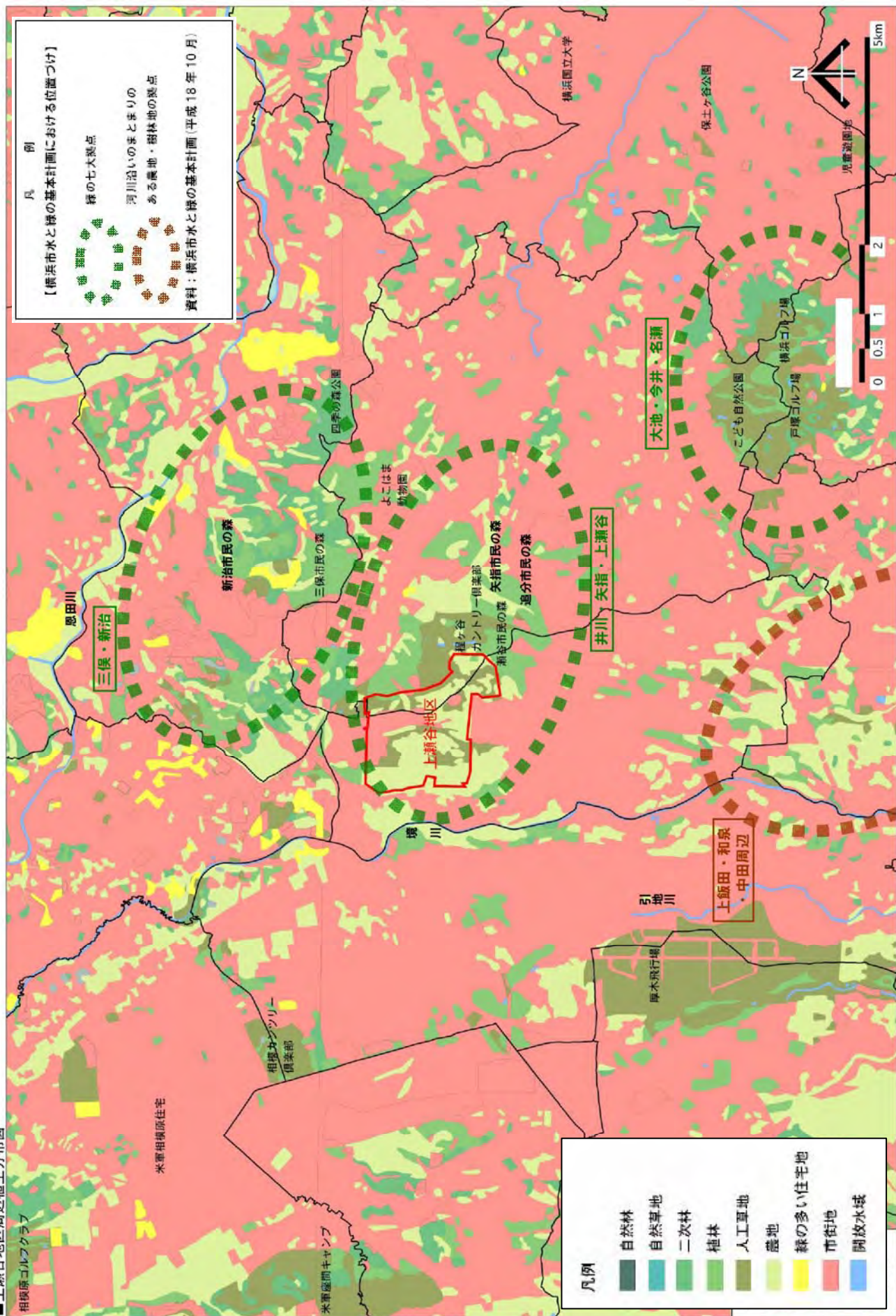
- ・幹線道路沿道に物流団地・工業地も見られるが、全般的に一般住宅地が広く分布
- ・市街化調整区域周辺部分ではスプロール型の小規模戸建住宅地が多く立地

注 *1 「緑の七大拠点」：横浜市水と緑の基本計画（「平成 18 年 12 月」において、「確実に継承する緑」として位置づけられている拠点区域





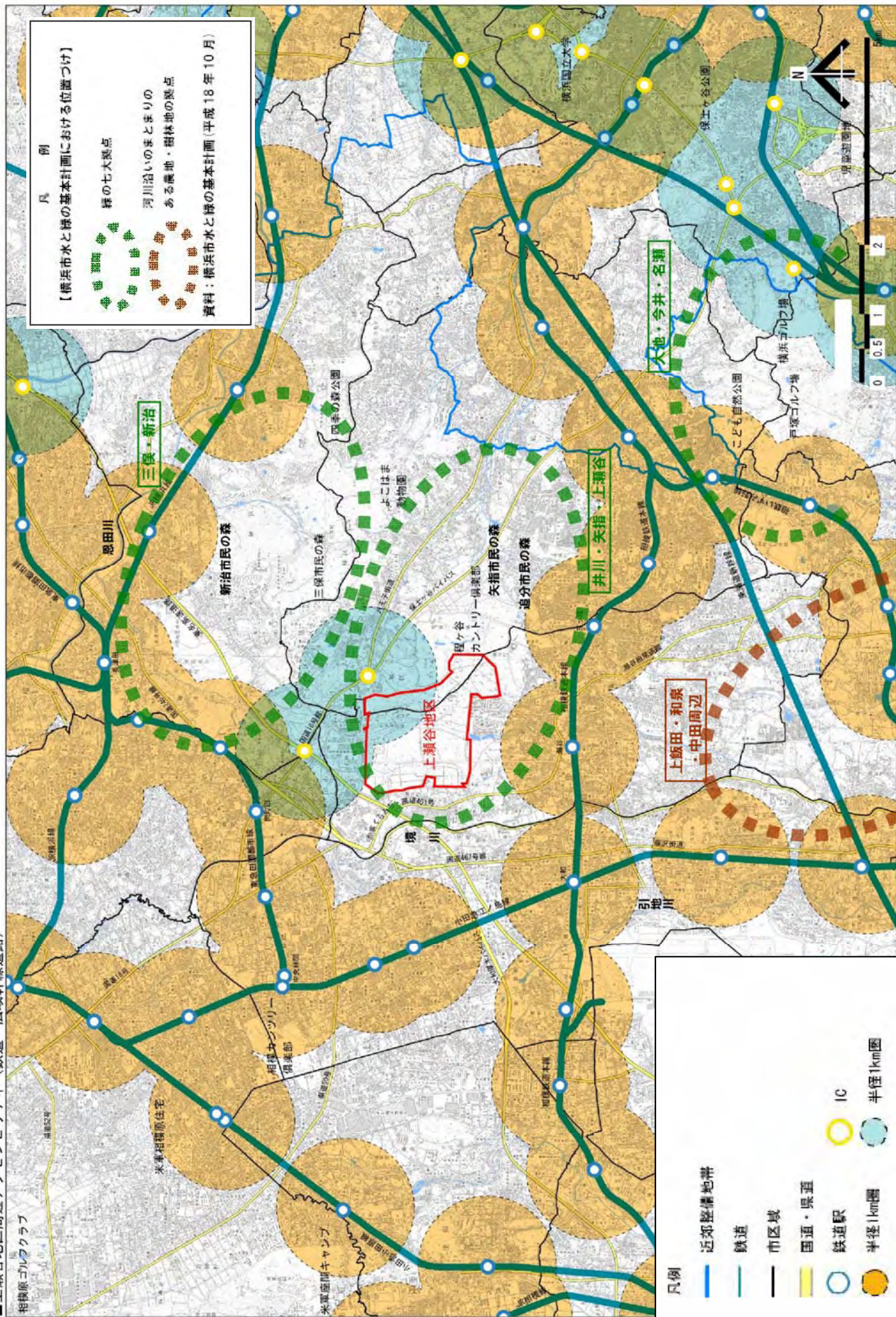
■上瀬谷地区周辺植生分布図



出典：環境省生物多様性センター・自然環境情報GISをもとに作成

[illegible]

出典：国土交通省国土計画局 国土数値情報三大都市圏計画区域データ2003年を基に作成



■ 上瀬谷地区周辺のDID地域と人口密度分布

